

新しい時代も「選ばれるまちへ」

～定住日本一に向けた子育て×住まいプラン～

令和元年度 新公共経営プロジェクトチーム



藤枝市
Fujieda City

提案事業一覧

	事業名	効果	実施時期
子育てプラン	孫育て推進事業	多忙な父母の子育て補助、祖父母の豊富な経験・知識・キャリアを活かし、子どもの成長を促す。	令和2年度実施
	広がれ！ 子育て支援の輪	民間による総合支援センターを設立し、支援センターの事業を活性化・拡充。地域の人材を活かし、地域力の向上を図る。	令和2年度検討 令和3年度実施
	TADAIMA PLACE	子どもの安心できる居場所をつくり、地域で子どもの育成を図る。	令和2年度検討 令和3年度にて 1校モデル実施
住まい（空き家活用）プラン	地域交流ベース 認定制度	地域コミュニティの活性化を促し、活動を支援する。	令和2年度 制度設計 令和3年度実施
	空き家 D I Y推進事業	・空き家の利活用として話題性があり、クリエイティブな人の移住に繋げることが可能 ・趣味を通じたコミュニティの拡大	令和2年度実施
	空き地たまり場 応援事業	・売地の発信や、今後の活用方法の参考となり、遊休地の減少につながる。 ・「ながら見守り」の拡充	令和2年度 実態調査・実施

令和元年度新公共経営プロジェクトチーム

No.	役 職	氏 名	所 属
1	リーダー	樋口 雄亮	健康福祉部 子ども家庭課
2	サブリーダー	青山 佑介	企画創生部 I C T 推進室
3	サブリーダー	伊久美 航平	総務部 契約検査課
4		竹内 実梨	企画創生部 情報政策課
5		藁科 梨江	財政経営部 課税課
6		矢部 靖子	市民文化部 協働政策課
7		勝瀬 大智	商業観光局 商店街活性化推進室
8		中橋 嘉宏	都市建設部 建築住宅課
9		高原 雅仁	環境水道部 下水道課
10		飯田 晃輔	教育部 生涯学習課
11		秋山 和美	監査委員事務局

事務局：企画創生部 企画政策課

〔課題提起〕“選ばれるまち”に向けた検討

- ◆人口減少・少子高齢化
- ◆世帯構造の変化・核家族の増加
- ◆空き家問題
- ◆地域コミュニティの活性化
- ◆金銭（教育費・住宅ローン等）負担の増加
- ◆治安の良い、住みやすいまちづくり



上記課題から“子どものいる生活”に不安を抱えていると考察し、“新しい時代も選ばれるまち藤枝”を叶えるために

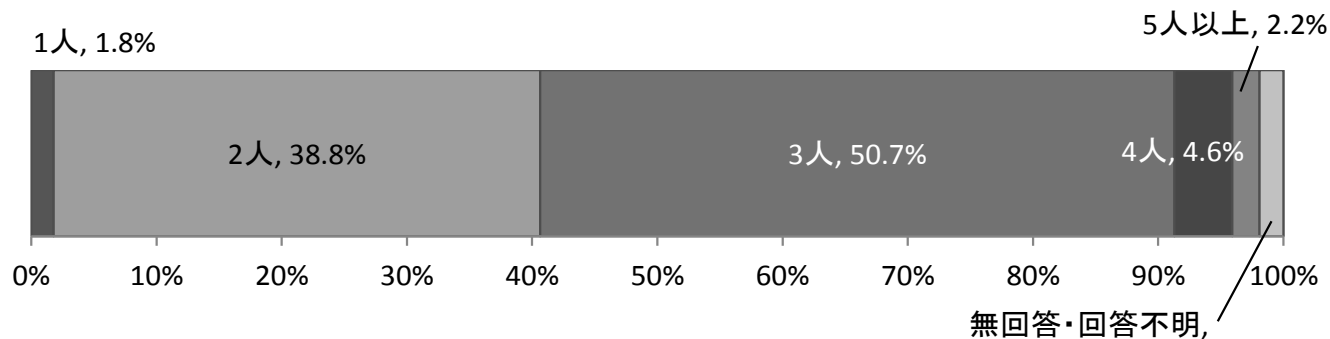
子育て×住まい（空き家活用）に着目。

〔現状分析〕 1世帯当たりの子どもの人数

本市の1世帯当たりの子どもの人数 **2.04人**

理想と現実にギャップ

アンケートによる理想の子どもの人数 **2.61人**



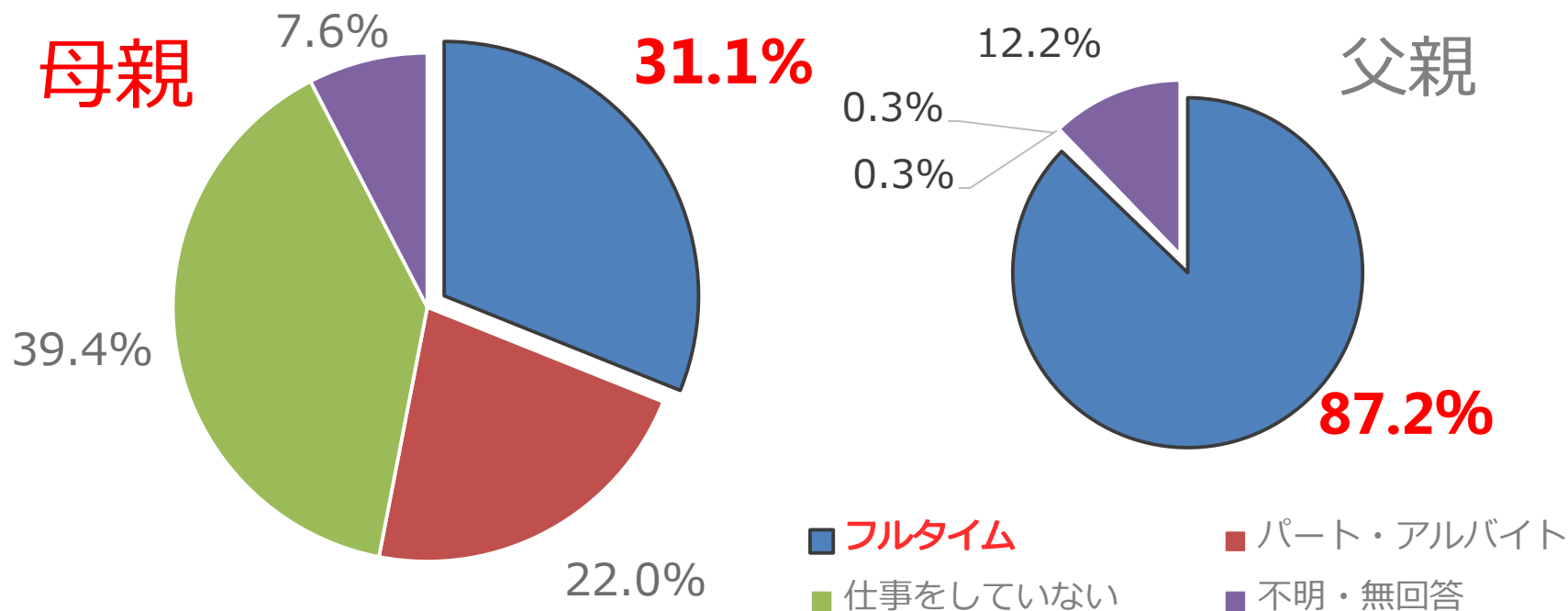
出典：『ふじえだ健康都市創生総合戦略』

出生率

藤枝市：1.47 焼津市：1.36 島田市：1.47 静岡県：1.54

(H25~29県独自推計)

〔現状分析〕 保護者就労の状況（藤枝市）



藤枝市でも
フルタイム（産休・育休・介護休業を含む）で
働く母親が増加（平成25年26.7%）している。

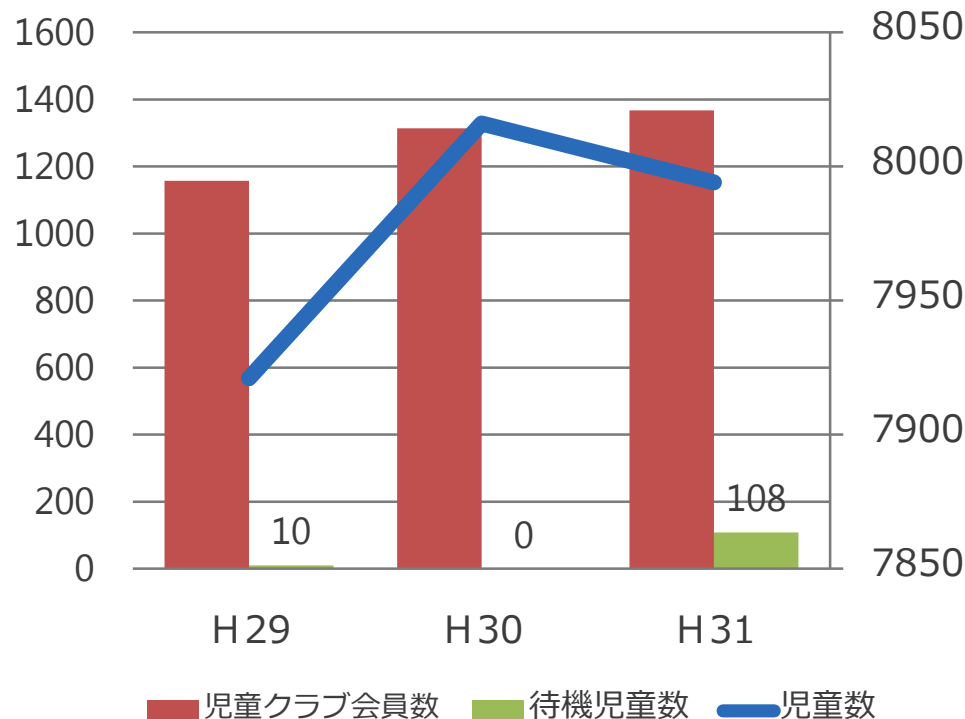
出典：児童課調査

○ 共働き世帯の増加により、

子どもを預けて働く家庭が増加

〔現状分析〕 世帯状況の変化と影響

藤枝市内の児童数および 児童クラブ会員数



藤枝市内子育て世代の 「祖父母との同居」割合

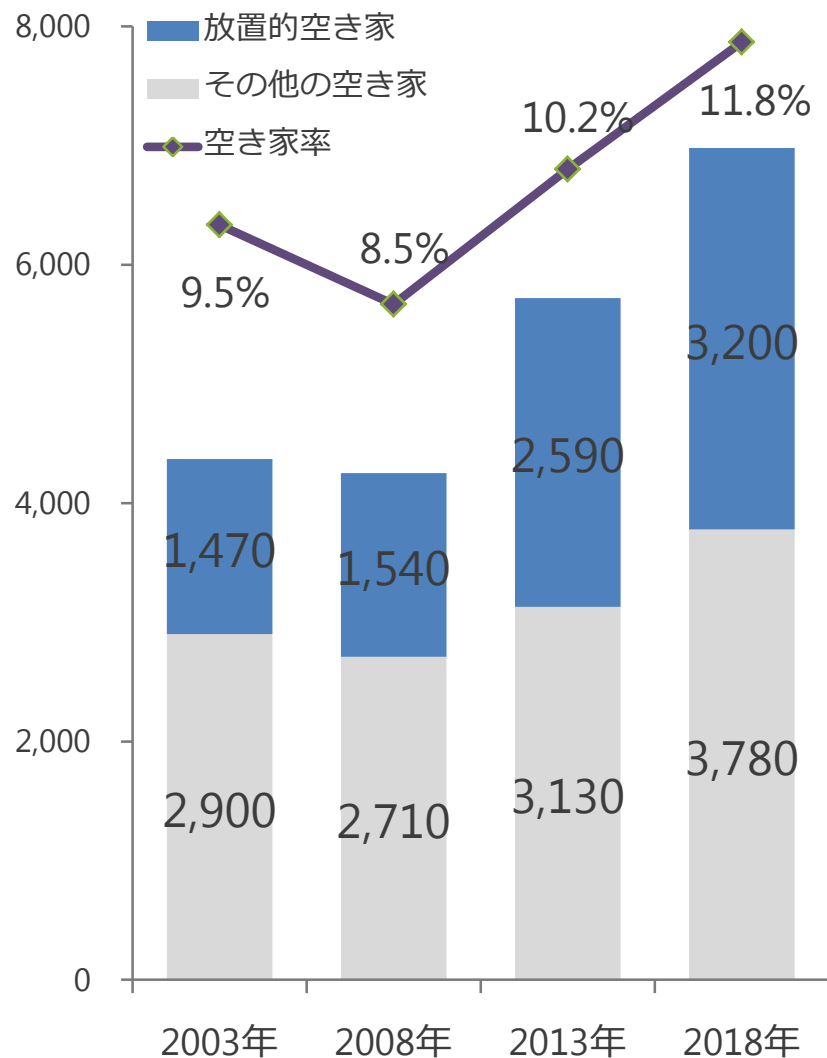
同居者	H25	H30	前回比
祖父	23.9%	13.6%	↓10.3%
祖母	26.6%	16.7%	↓9.9%

少子化に関わらず児童クラブ待機児童が増えている。祖父母との同居率が5年で約10%低下したことも要因の一つと思われる。

出典：児童課・教育政策課

○ 世帯状況の変化により、育児の担い手が減少

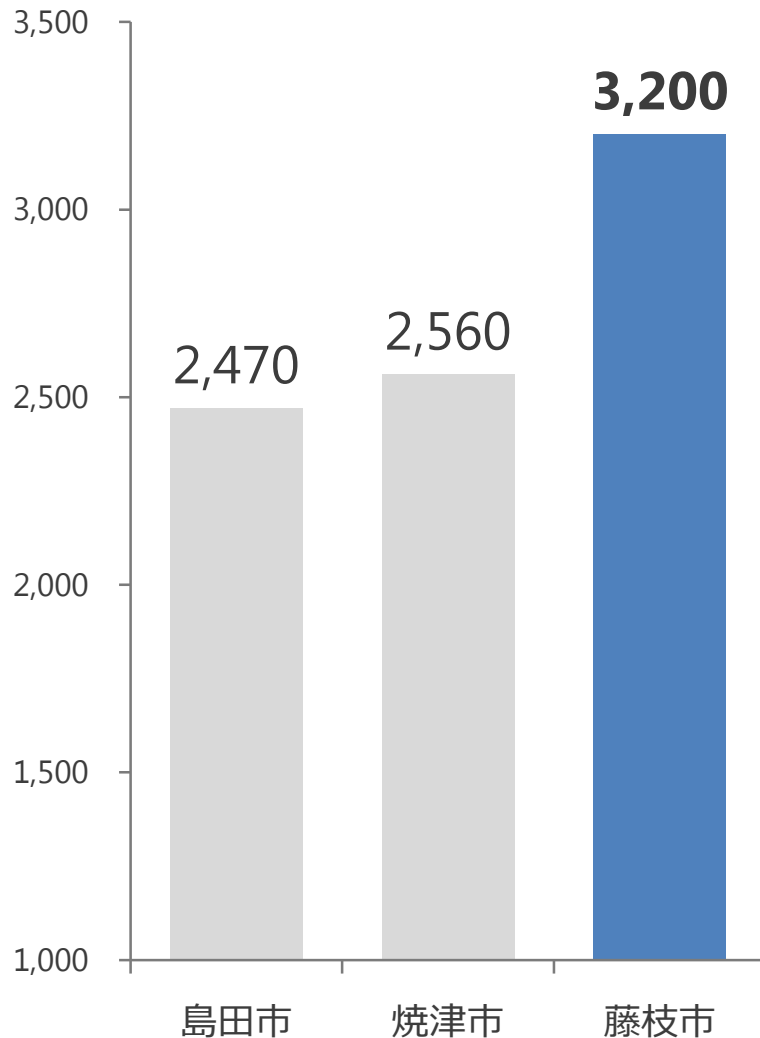
〔現状分析〕 藤枝市の空き家数の推移



○全国平均を下回るが
空き家率は上昇傾向

○放置的空き家は
15年で**約2.2倍**に増加
(1,730戸増加)

〔現状分析〕 近隣市との放置的空き家数の比較



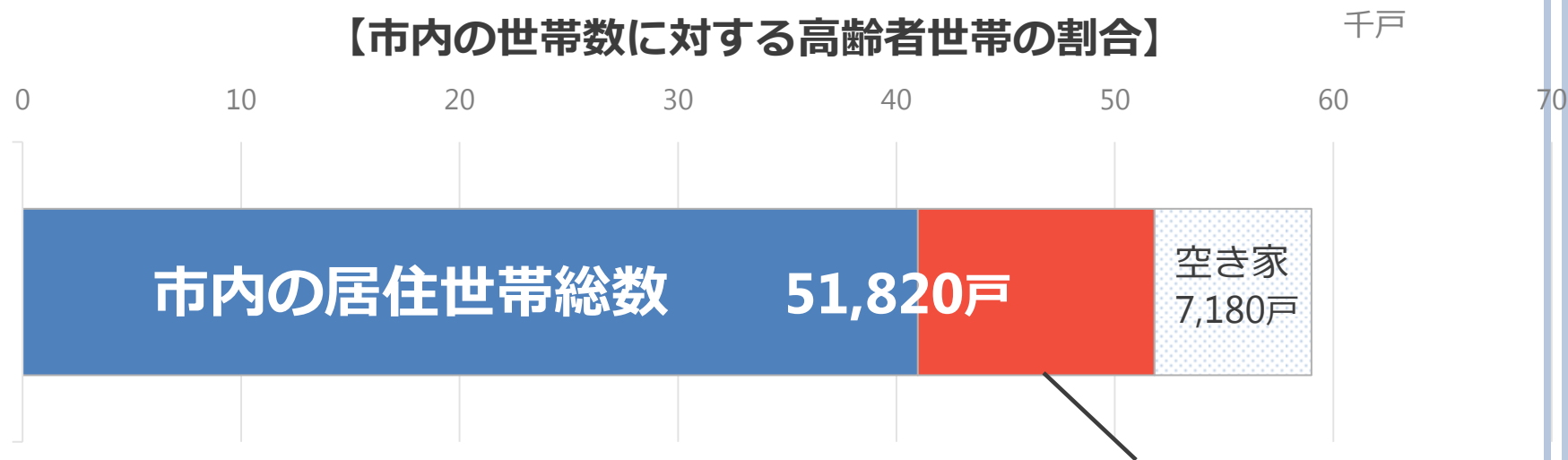
	空き家率
島田市	11.5%
焼津市	12.2%
藤枝市	11.8%

○空き家率は**同水準**

○放置的空き家は
藤枝市が最も多い

〔現状分析〕 高齢者のみ世帯の割合

【市内の世帯数に対する高齢者世帯の割合】



出典：平成30年住宅・土地統計調査（総務省）

高齢者※のみの世帯数 10,849戸

全体の 2 割以上が高齢者のみの世帯

中長期的な空き家の増加が見込まれる

※高齢者：国連世界保健機関（WHO）の定義より、65歳以上の人

〔目標〕

出生数の増加

- 育児の負担を個人に任せすぎないように、公・私合わせた幅のある支援が必要。“家族・行政・地域が一体となり、誰もが安心して子育てができる藤枝”を目指す。

定住率の上昇

- 空き家増加の主な原因は所有者が活用について予定がないことにある。活用方法を見出す支援をすることで、空き家の流通を促進し“住み続けたいまち藤枝”を目指す。

子育てはオールふじえだ ～家族×行政×地域～

子育てチーム企画提案



藤枝市
Fujieda City

〔提案〕 現状から施策のポイントを整理

A

孫育て応援事業

～誰もが子育てに参加し育児負担を軽減する～

B

広がれ！子育て支援の輪

～地域のサポートで、育児の孤立化を防止する～

C

TADAIMA PLACE

～新しい居場所と学習の場の確保～

提案A 孫育て応援事業

【概要】

- 子育て負担の軽減・子どもの健全育成のために、孫を持つシニア世代を対象に子育ての参加を促す事業。

【目的】

- 孫育てにより、多忙な父母の子育て補助を推進。
- 豊富な経験・知識・キャリアを活かし子どもの成長を促す。
- 孫育ての悩みや不安を軽減し、後押しをする。



- ・ 孫に良かれと思ってやったのに親から文句を言われる。
- ・ 孫育てをしたいけど方法がわからない。
- ・ 世代間ギャップがあり、どう接したらいいかわからない。
- ・ 親との兼ね合いで孫のかわいがり度合いがわからない。

(ファザーリングジャパンより)

提案A 孫育て応援事業

事業① イクジイ養成講座

【概要】イクジイは育児×おジイちゃんが組み合わされた造語で、過去流行語大賞候補にも選ばれた。講義により育児の世代間ギャップの解消・親子コミュニケーションの円滑化・祖父母にしかできない役割を学び“ほどよい”かわりを推奨する。

【ターゲット】孫を持つシニア世代（祖母も参加可）

【講師】

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事
イクジイプロジェクトリーダー 村上 誠氏



孤育てから多育て・他育てへ、多世代による育児参加の必要性を訴える。子どもの発育と育児期の親には多様な人間関係が重要との考えからイクジイを推進。社会の変化・子どもの発達など幅広い視点からイクジイの必要性を訴える。

提案 A 孫育て応援事業

イクジイプロジェクトの 2 本柱



孫育て

自身の孫育て

パパママのサポート（補完）
家族の絆
世代間ギャップ解消
祖父母だからこそできること



社会貢献

地域の孫育て

中高年のエンパワーメント
セカンドキャリア
世代間交流
地域力の向上

提案A 孫育て応援事業

右：横浜市
左：岐阜県

事業② 祖父母手帳作成

【概要】シニア世代が持つ孫育ての悩みを解消するために、子育ての基本知識や祖父母の役割、世代間のギャップなどを記載した冊子を市で作成する。



【ターゲット】今後孫ができる、または現在孫がいるシニア世代。

【内容】

- おむつ替えやミルクの作り方など基本的な子育て知識。
- 今と昔の子育て方法についての比較、直接は伝えにくい親・祖父母間の子育てに関する本音を記載する。
- 祖父母世代だけでなく、子育て初心者の親世代も利用できるように市内の子育て支援センターや緊急連絡先の情報も記載する。

提案B 広がれ！子育て支援の輪

【事業概要】

民間による子育て“総合”支援センターの設立

- 市が運営する既存の子育て支援センター1カ所を民間による指定管理とする。拠点として支援センターを統括し**市内子育て支援ネットワークの中心**として機能する。

【目 的】

- 拠点を設立することで市内支援センター及び支援団体をまとめ、事業の活性化・拡充を図る。
- 民間のノウハウを活かし、多角的な地域支援を実施する。
- 子育て団体の設立・ママ友作りをサポートし“みんなで楽しい”子育てをサポート、孤立化を防ぐ。

提案B 広がれ！子育て支援の輪

【事業内容】



① 拠点施設の充実

- 運営主体や他団体による**イベントを充実**させ、**親子**が楽しく遊び、利用者間の交流、プログラムを通じて、子育ての楽しさ、不安の軽減、子育ての力を向上する。
- 支援団体・ママ友が飲食など気軽に利用できる**貸部屋**の設置。

② 補助金支給による子育て団体応援制度

- 未就園児の支援を対象とした子育て支援団体やサークルに対し公募。効果的な活動を計画している団体に対し補助金を支給する。



提案B 広がれ！子育て支援の輪

③情報の集約・発信



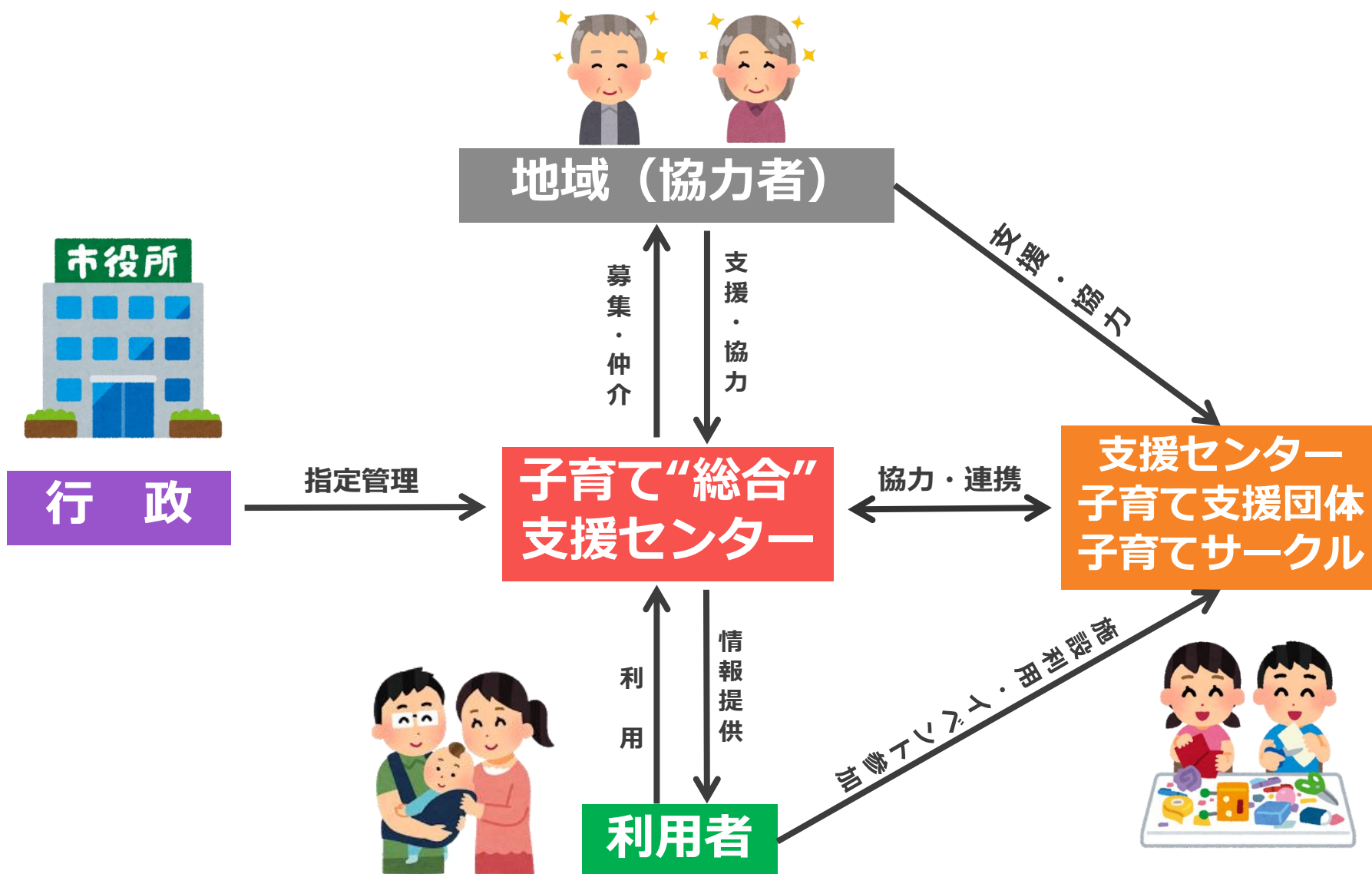
- 既存のサイト“ママフレ”と連携・拡充、地域の子育て支援センター・支援団体の紹介・イベント情報を一括しホームページにて掲載。
- 市内で実施される子育てイベントを集約し、子育て世代がなじみの深いSNS（LINE@）を活用し利用者へ発信。市内で実施される子育てイベントにおける広報活動を行う。

★LINE@

情報の提供側と利用者をつなぐツールとして利用。
無料または低価格（配信量による）で登録者への
情報発信が可能。



提案B 広がれ！子育て支援の輪



提案B 広がれ！子育て支援の輪

【効 果】

- ✓ 居場所を充実させ、子育てイベントが増加、孤立化を解消し**満足度UP**
- ✓ 保護者同士や団体とつながり、地域に根付き
定住率UP
- ✓ シニア世代や地域の人材が活発となり、**地域力UP**
- ✓ HPや広報誌等で得ていた子育てに関する情報をLINE@を通じて、利用者に直接届けることでサービスやイベントの**活用率UP**



提案C TADAIMA PLACE

①放課後子ども教室事業の拡充

【事業概要】

地域主体の運営団体が、既存の放課後子ども教室事業を活用し、小学生を対象に安全で安心できる居場所をつくる。平日5日間開催し、自己学習や講座の開催、自由遊びの見守り等を行う。

【事業目的】

- 放課後児童クラブの会員以外の児童でも参加できる居場所を提供し、子どもの健全育成を図る。
- 地域が事業に参画することで、地域で子どもを育てる意識を醸成する。

提案C TADAIMA PLACE

【本市の既存事業】

放課後子ども教室事業。本年度、市内8小学校区7教室が実施。

〈令和元年度 各教室の活動内容について〉

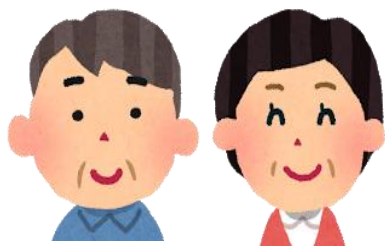
小学校区	藤岡	広幡	西益津	大洲	葉梨	高州・高州南	青島東
実施主体	地域	地域	地域	NPO	地域	地域	地域
活動回数	28回	30回	20回	18回	87回	45回	20回
主な活動場所	藤岡会館	広幡小学校	西益津地区交流C	大洲小学校	葉梨地区交流C	高州地区交流C	田沼南公会堂
曜日	水・土	水・土	水・土	土	水・土	各月第3週(月～土)	土
主な活動内容	サイエンス講座	自由遊び	講座	軽運動	読み聞かせ 箏	卓球 陶芸	学習活動

参照：令和元年度各教室の実施計画

 市内全小学校区ごとに教室の開設を目指す！

提案C TADAIMA PLACE

【事業内容】



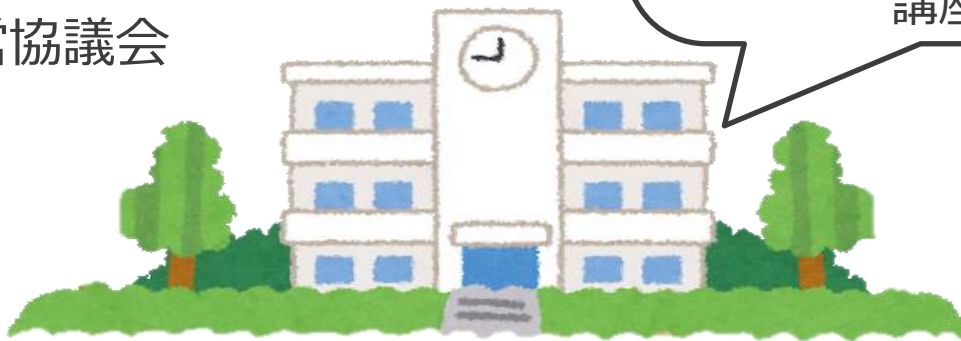
(1)実施主体：
地域による運営協議会



(4)内容：自由遊び



(4)内容：自己学習の見守り、
講座の開催



(2)活動日時：平日5日間 放課後～17時まで

(3)場所：小学校の余裕教室、グラウンド

提案 C TADAIMA PLACE

② 特別教室の開催 ～夏休み期間限定～



【事業概要】

夏休み期間において、小学生を対象にSDGsの要素を組み入れた野外体験活動を実施する。

日帰りのプレイパーク形式と宿泊体験を伴う3泊4日自然教室形式の2種類を別日程で行う。

【事業目的】

- 夏休み期間において、不足している野外体験活動の機会を提供する。
- 普段学ぶ機会の少ないSDGsのテーマについて学習する。

提案 C TADAIMA PLACE

実施主体	プロポーザルによる公募	
協 力	大学、静岡県森林環境教育指導者、地域の指導者	
項 目	プレイパーク	3泊4日自然教室
実施期間	週2日 計9日間	4日間
推奨学年	小学1～3年生	小学4～6年生
親子参加	可	不可
活動例	・ 森林伐採体験を通して、山の植生循環システムを学ぶ。 ・ 限られた水や食材で4日間を過ごす生活の工夫を体験する。	

提案 C TADAIMA PLACE

【事業の効果】

- ✓ 保護者の労働時間が確保される。
- ✓ 多様な体験・交流を通して、子どもの自主性及び協調性が育まれるとともに、地域への愛着心が生まれる。
- ✓ 地域の参画が増え、教育に関心を持ち教育関連の協力者が増える。



～空き家活用のすゝめ～

空き家チーム企画提案



藤枝市
Fujieda City

提案 現状から施策のポイントを整理

A

交流拠点(ホームベース)認定制度

～住宅ストックの利活用を提案～

B

空き家D I Y推進事業

～「住んでみるら」わが家をサポート～

C

空き地たまりば応援事業

～安全・安心、笑顔があふれる場～

提案A 交流拠点（ホームベース）認定制度

①空き家を活用した交流拠点認定制度

【事業概要】

町内会、自治会又は地区社会福祉協議会が、空き家を地域コミュニティの活性化のために活用している場合に、市が「**交流拠点**」として認定する。

市は、運営等に関する情報の提供や助言。認定空き家の家屋・土地の固定資産税の減免を実施。

提案A 交流拠点（ホームベース）認定制度

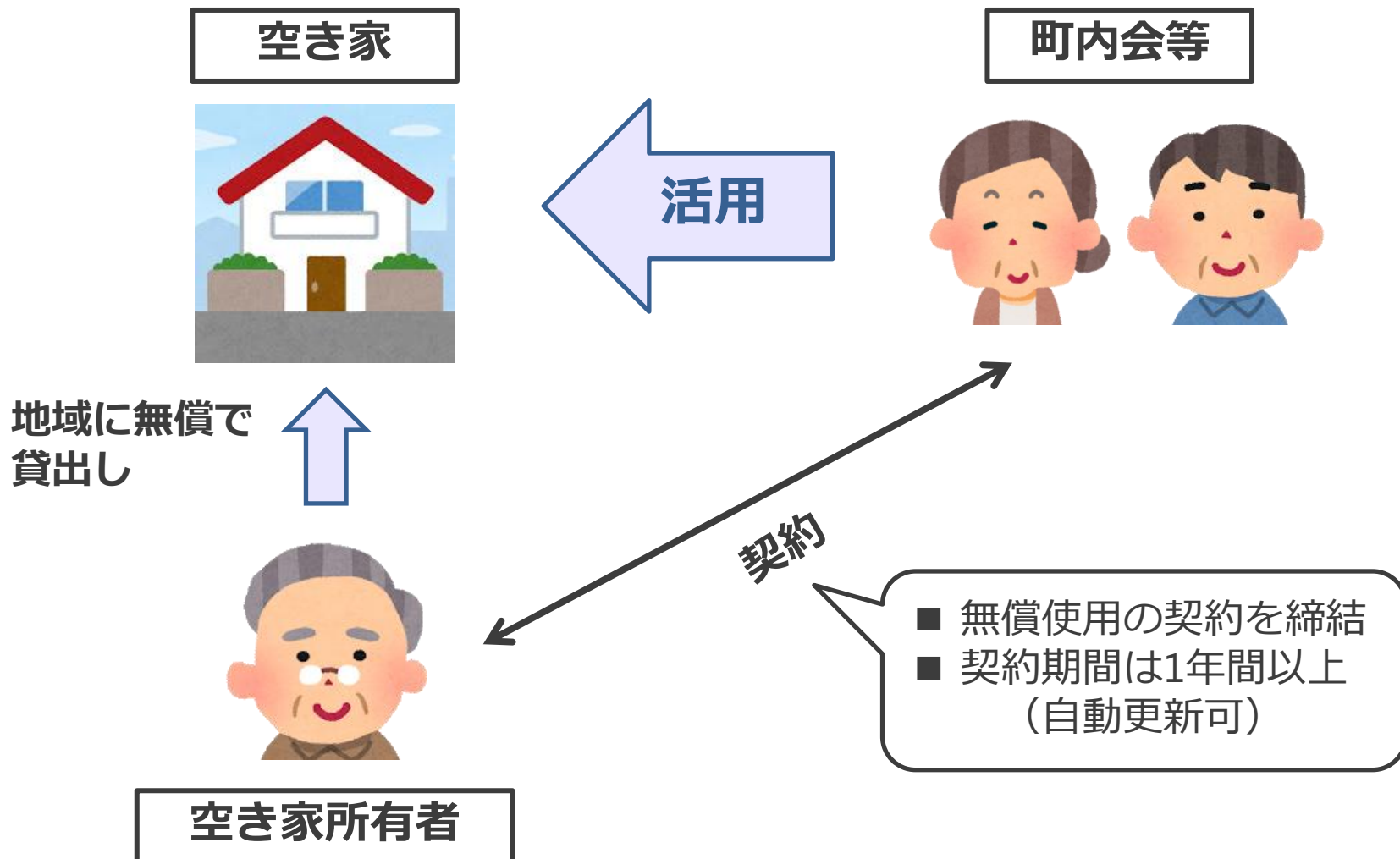
【事業内容～認定要件～】

物件条件： 1. 町内会等の活動範囲内に所在
2. 所有者から無償での借り受け
3. 一年以上の使用貸借契約の締結

活動条件： 1. 地域住民の誰もが利用可能
2. 月4回以上使用されていること
3. 月50人以上の利用があること

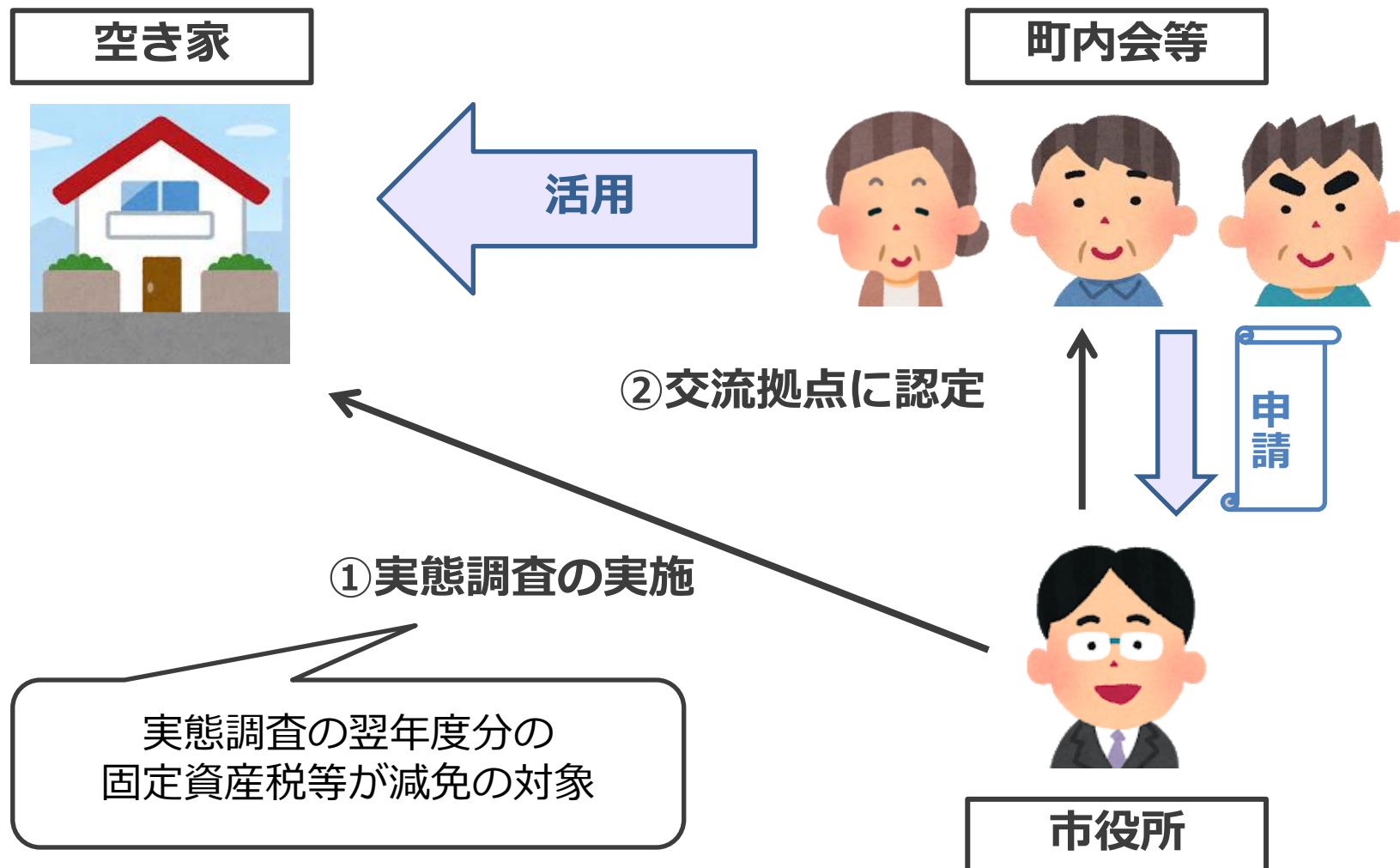
提案A 交流拠点（ホームベース）認定制度

STEP1（空き家を町内会等が交流拠点として活用）



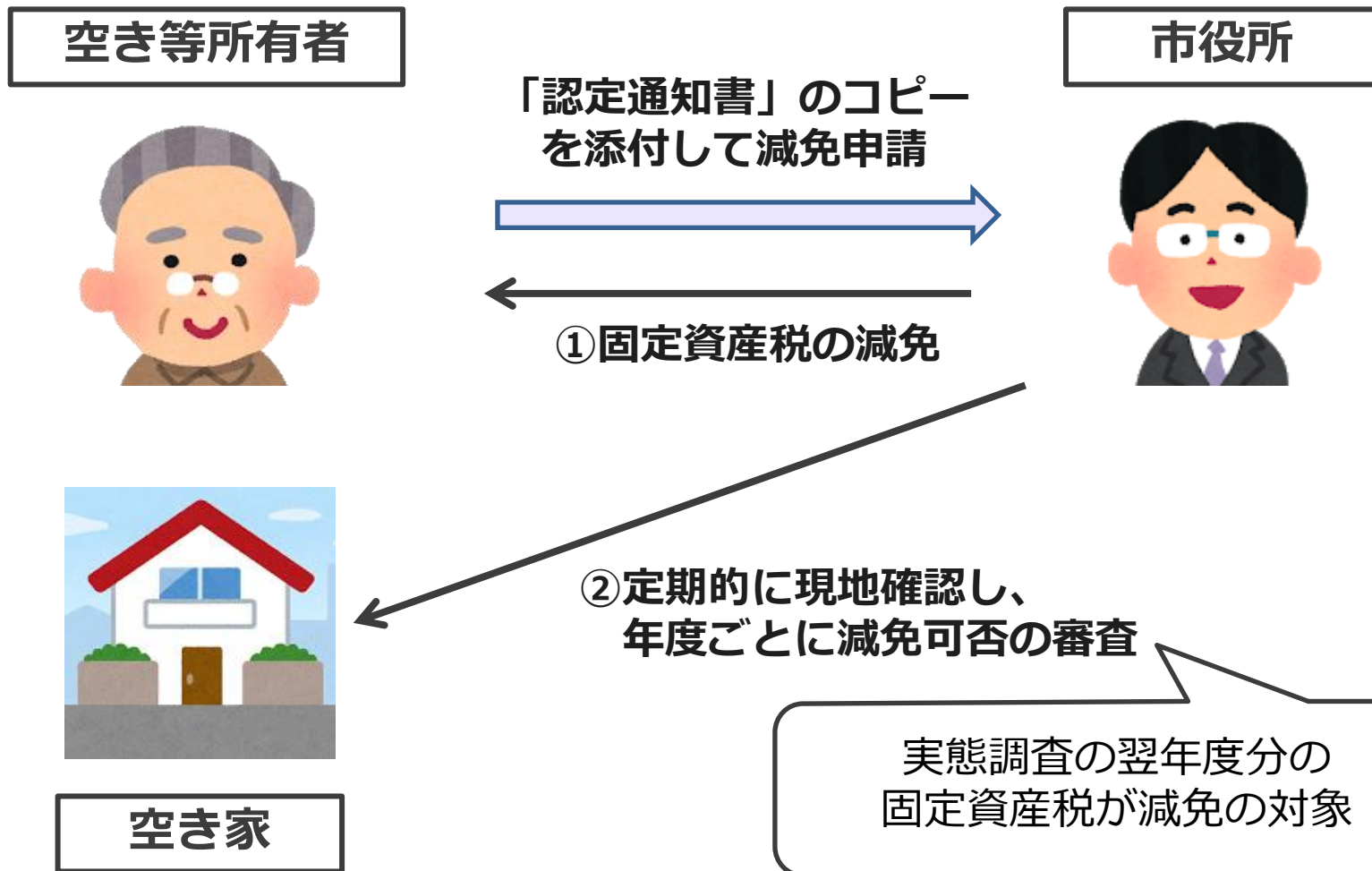
提案A 交流拠点（ホームベース）認定制度

STEP2（町内会等が認定申請、市で実態調査し、認定）



提案A 交流拠点（ホームベース）認定制度

STEP3（空き家所有者が固定資産税の減免申請、市が減免）



提案 A 交流拠点（ホームベース）認定制度

②空き家を活用した交流拠点改修補助事業

【事業概要】

事業①の認定制度を利用する予定の団体が交流拠点運営のために、空き家を改修する際のリフォーム費用等を補助する。

1年以上放置されていた空き家は現状のままで使用が難しく、バリアフリー等にも対応していないため、補助金にて改修をサポートする。

提案 A 交流拠点（ホームベース）認定制度

【事業内容～補助要件～】

- 要件： a. 事業①の認定制度を利用する予定である
（事業計画書や賃貸借契約書等により確認）
b. 改修完了時において建築基準法の新耐震基準に適合する建築物となっている

対象経費：リフォーム費用等
（クロス・壁紙張替、内部補修、バリアフリー化にかかる工事費用など）

補助額：上限100万円（対象経費の全額）

提案A 交流拠点（ホームベース）認定制度

【事業効果】

- ✓ 空き家を活用することで地域コミュニティが活性化し、住居使用以外での空き家利用が促進される
- ✓ 地域住民が繋がる場所・機会が増え、高齢者の介護予防や多世代間交流が生まれる
- ✓ 固定資産税等の減免により町内会等の継続した取組に繋げることができる



提案B 空き家DIY推進事業

～借主負担DIY型賃貸借契約～

【事業概要】

「空き家を手放す気はないけれど、活用したい」と思っている所有者と「**自分らしく暮らしたい**」という借主とのマッチングや契約までの流れをサポート

【事業目的】

- 流通していない空き家の新たな活用方法の提案と発信
- 空き家ゼロにサポーターと連携して空き家の掘り起こしを行い、放置的空き家を減少

提案 B 空き家 D I Y 推進事業

【事業内容】

サポーター

- 放置的空家の発掘
- 大家と借主の契約の仲介

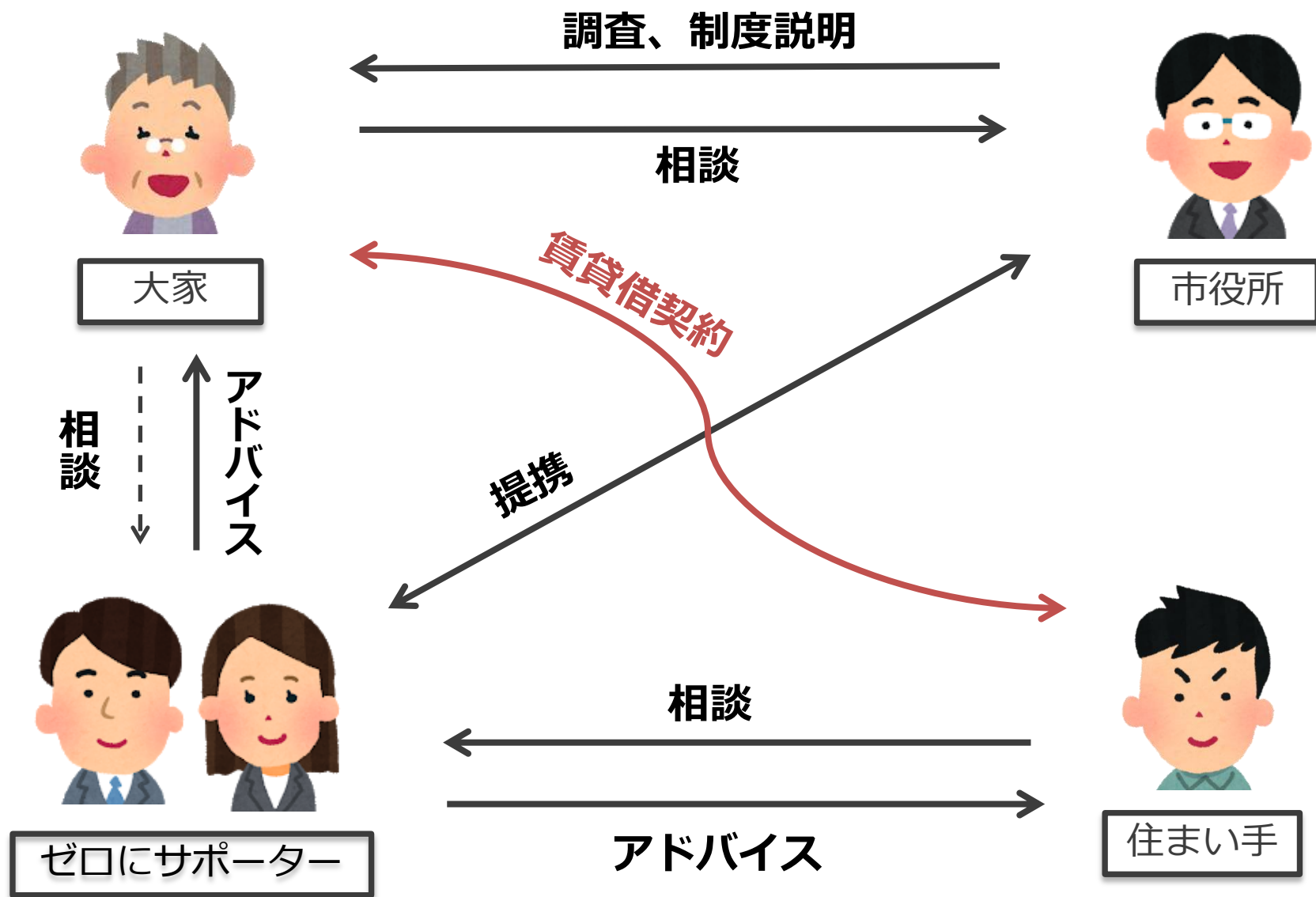
市役所

- 放置的空家の調査
- 物件カルテの作成、公開、管理

地域住民

- ワークショップ等の参加
例：D I Y のプロを講師に招き、参加者が実際に体験しながら学ぶ講座 など

提案B 空き家D I Y推進事業



提案B 空き家DIY推進事業

- 「空き家ゼロにサポーター」や
中心市街地リノベーションまちづくり推進機構と
連携しながら、DIYに関わる機会を広く提供。
- 有名なDIYクリエイターをプロデューサーに起用し、
賃貸住宅をおしゃれでカフェのような部屋に
作り上げる
ワークショップを開催



提案B 空き家D I Y推進事業

【事業効果】

- ✓ 充実したライフスタイルによる長期入居の実現
- ✓ クリエイティブな人の移住に繋がる可能性
- ✓ 趣味を通じた市民間のコミュニティー拡大
- ✓ 空き家の利活用方法として注目されることによる、
空き家の流通促進と話題性の創出

⇒ 藤枝のさらなるPRに

提案C 空き地たまりば応援事業

【事業概要】

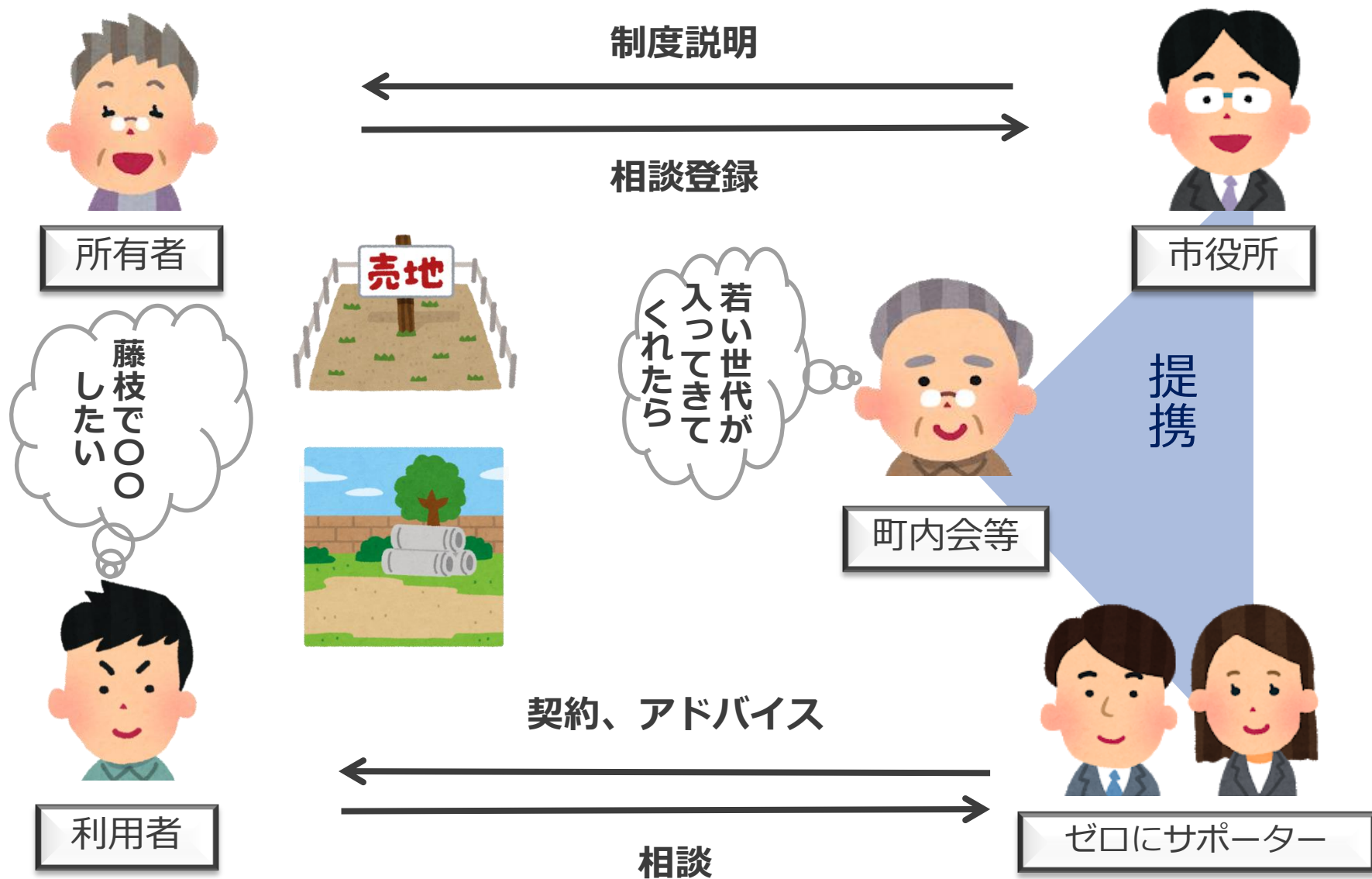
空き地バンクに登録した土地を
コミュニティスペース等として利用し、
誰もが活用できる「**多世代間交流の場**」を提供。

【事業目的】

地域にある**遊休地※**を活用し、
良好なコミュニティ形成のための支援を実施

※遊休地…いかなる用途にも有効活用されていない土地

提案C 空き地たまりば応援事業



提案C 空き地たまりば応援事業

【事業内容】 活用事例



読み聞かせ



移動販売



マルシェ



フリーマーケット



花畑の
ワークショップ



ミステリーサー
クル



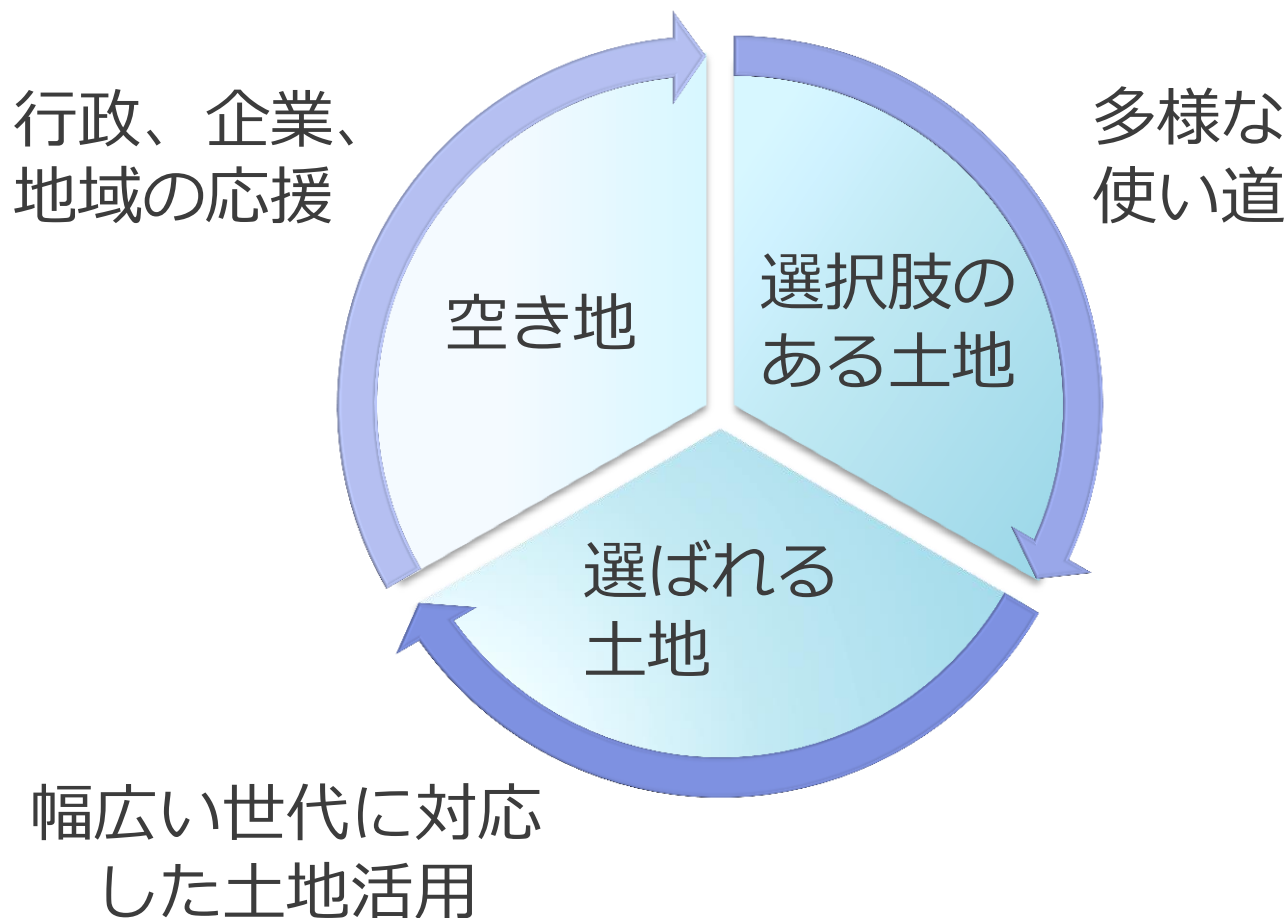
グランピング



カフェ

提案C 空き地たまりば応援事業

【事業の効果～持続可能な循環する地域～】



提案C 空き地たまりば応援事業

【事業の効果】

- ✓ 売地を発信し、土地購入検討者（移住者）の呼び込みに繋げる
- ✓ 所有者にとって今後の活用方法の参考となり、遊休地の減少が見込まれる
- ✓ 多世代間の交流により地域の活性化に繋がる
- ✓ 「ながら見守り」の拡充になる

提案事業総括



提言内容全体像

まちづくりの担い手である
高齢者・地域・大学生・NPOの活躍

子育て提案事業



孫育て推進事業



広がれ！
子育て支援の輪



TADAIMA PLACE

空き家提案事業



交流拠点（ホームベース）
認定制度



空き家D I Y推進事業



空き地たまりば応援事業

新しい時代も「選ばれるまちへ」